

第 2 回（仮称）リニア山梨県駅前エリアのまちづくり基本計画検討委員会

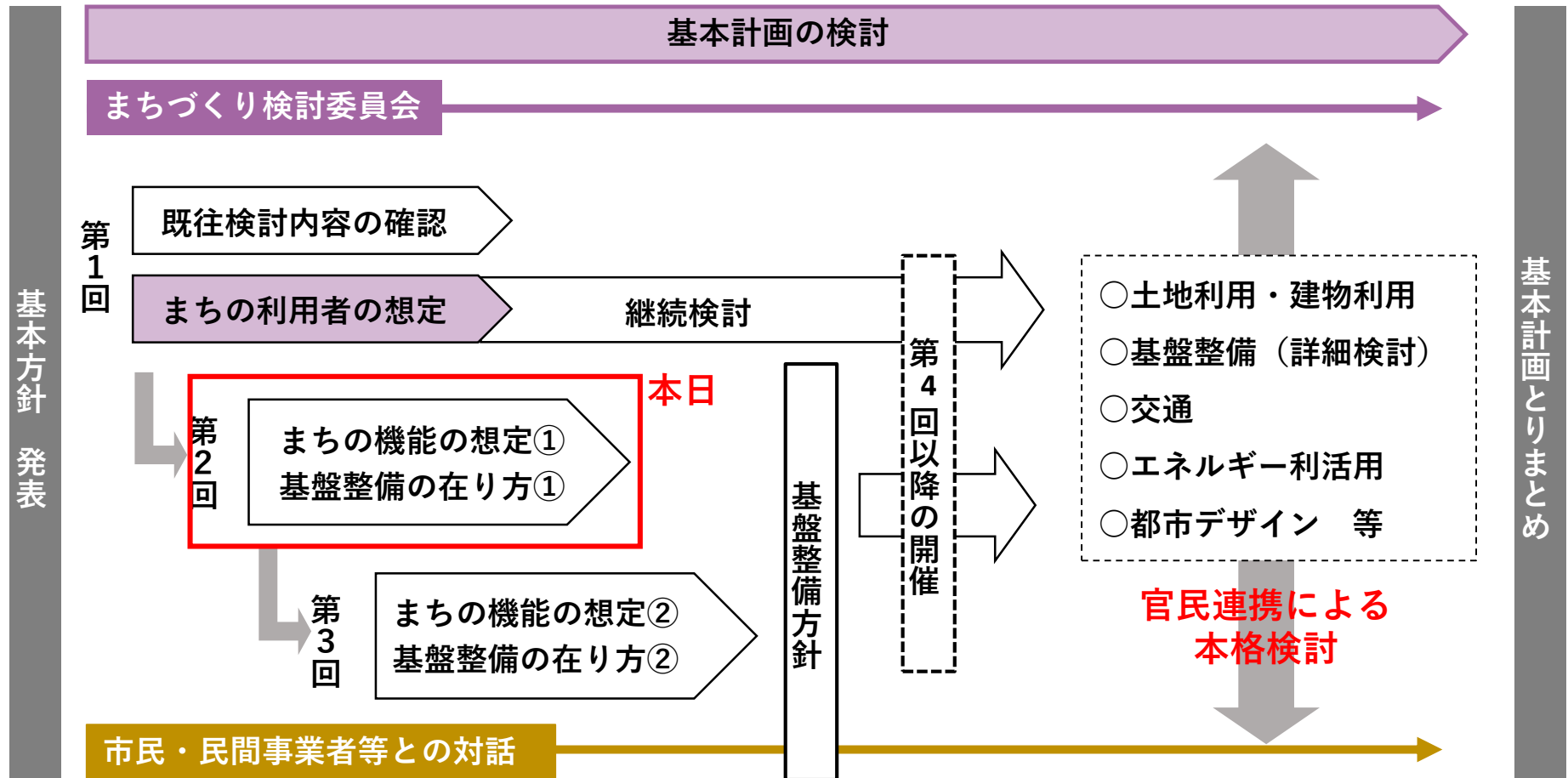
第 1 回の振り返りと 第 2 回以降の進め方

令和 6 年 3 月 2 7 日（水）

甲府市

1. まちづくり検討委員会の流れ（前回資料に一部加筆）

- 基本計画の内容は多岐に渡る見込みであるが、基盤整備に関する内容について、①先行する他事業との調整のため、②官民連携のまちづくりの実現に向けて公共が担う内容について整理するために、先行的に検討を進めていきます。



※上記の進め方は、委員会での議論を受けて変更する可能性があります。

(仮称) リニア山梨県
駅前エリアの
まちづくり基本方針
(令和5年11月公表)

コンセプト、基本方針

- まちづくり基本計画作成に向けて、市民・県民、民間事業者等と議論を行うための「たたき台」

基盤整備方針
(令和6年度中予定)

まちの骨格となる主要な
公共施設の配置・規模等

- 駅関連事業として複数の基盤整備の検討が進んでいるため、南側エリアの基盤の基本的な考え方を示すもの
- 土地利用を検討する上で前提条件※となる公共施設の位置や規模と、それと連動して期待したい土地利用(ゾーニング)イメージを示し、民間事業者との目線合わせを行うもの

(仮称) リニア山梨県
駅前エリアの
まちづくり基本計画
(未定)

土地・建物利用、基盤、
交通、防災、エネルギー、
都市デザイン等

- 都市計画決定等の事業化手続きや、開発事業者の公募に向けて、必要な事項や条件を明らかにするもの

※土地利用の制約条件となりうる公共施設の条件を明らかにする趣旨であり、その後の土地利用の具体検討の中で、より効果的な公共施設配置や使い方のアイデアが生まれた場合の見直しを否定するものではありません。

(仮称)リニア山梨県駅前エリアのまちづくり基本計画検討委員会 基盤整備方針までの議論の流れ

